

通告番号 番

令和 4 年 5 月 27 日 午 前
時 分 受 領
後

氏 名 小田桐たかし ㊟

流山市議会議長 森 亮二 様

市 政 に 関 す る 一 般 質 問 通 告 書

第 2 回 定 例 会 に お け る 一 般 質 問 を 下 記 の と お り 通 告 し ま す 。

質 問 事 項	要 旨 (質意を明確、具体的に)
1 環境政策の充実について	(1) 本市の税や保険料の各種納付書を送付する窓あき封筒はいまだに窓空き部分にビニールが使用されている。一方、年金や普通自動車税納付書、本市障害者支援課等も窓あき封筒をすべて紙製のエコ封筒へ移行しており、資源化しやすい環境づくりやプラスチック製品の減量化へ着手している。改善すべきではないか、過去の検討状況を含め市の見解を求める。
2 市ホームページの充実について	(1) 選挙公報の公表について、流山市選挙管理委員会ホームページでは、市長・市議会議員の選挙公報は公表されているものの、その他選挙については結果のみの報告となっていることから、選挙公報が公表されているホームページへのアクセスを気軽にできるようホームページの環境改善が必要と考えるが、市の見解を問う。 (2) 令和 4 年予算審査特別委員会でも複数課にわたり質疑をしたが、化学物質過敏症についての認識を深められるよう広報を強めてほしいとの声も市民から寄せられている。現状では、消費生活相談事例集にしか掲載されていないことから、充実・改善が必要と捉えているが、市の見解を問う。
3 流山市ロードレース大会について	(1) 大会参加希望者から「制限時間 10 キロメートル 80 分を残してほしい」との声が聞かれており、目標に日々研鑽を重ねてこられた多くのランナーの希望に応える必要があると捉えているが、市の見解を問う。
4 特別障害者手当の周知徹底について	(1) 介護度 4・5 で特別な介護が必要な方であれば、無年金でも特別障害者手当を受給でき、障害者年金とも併用受給できること等を、対象者には、ケアマネジャーとも一体で周知を徹底する必要があると捉えているが、市の見解を問う。
5 民生(児童)委員について	(1) 千葉県内の自治体を比較すると、2019 年度人口 1 万人当たりにおける民生(児童)委員の相談・支援件数は県内 54 自治体中 8 位と大奮闘している一方、2019 年度末人口 1 万人当たりの民生(児童)委員の人数は県内 52 位となっている。現状に対し、市はどう受け止め、打開に向けた取り組みについて問う。
6 公共施設の適正管理について	(1) 長崎小学校区ひよどり学童クラブは、小学校校舎内から現施設へ移り、現在、過去市内で最も施設が古く、築 40 年以上が経過した。しかし計画的な建て替えではなく、雨漏りが発生するまで放置され、やっと今年度防水工事等が実施される。適正な管理とはとても言えないが、どのような総括をしているのか。 また学童クラブは、学校の長期休暇中も運営することや梅雨・台風シーズン前の防水工事完了が必要なことから、今後の工事スケジュールや安全安心な学童保育スペースの確保、校舎等利用時のセキュリティ対策等、細心の配慮が必要と捉えているが、市の見解を問う。

[ここに入力]

7 学校給食について

(2) 他施設でも雨漏りや外壁塗装の剥がれ対策など要望が寄せられている。どのように現状を把握し、計画的な施設管理に活かしているのか、雨漏り等への早期対応について市の見解を問う。

(1) 文部科学省は、令和4年4月5日事務連絡で新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、「食材費の増額分の負担を支援し、保護者負担を増やすことなく、学校給食の円滑な実施」を推奨している。また他自治体では、一人1食あたりの基準単価を自治体独自に上乘せする給食費一時支援金等をスタートさせ、給食内容を維持し、保護者負担を増やさない努力をしている。本市でも国の交付金や市財政を活用し、保護者の負担を増やさず、給食内容の維持・向上、食材等搬入業者の負担軽減、地産地消の推進等、持続可能な社会実現へつなげるべきと捉えているが、市の見解を問う。